



40  
岩上鶴鴿置物  
加納夏雄・海野勝珉  
1点  
明治27年(1894)  
(像)銀、彫金(台)木製彩色  
本体：16.4×23.2×19.0  
三の丸尚蔵館

明治期を代表する彫金家の加納夏雄(1828～98)と海野勝珉(1844～1915)による合作で、『日本書紀』の国生み神話に基づく婚礼調度の床飾りとして知られる鶴鴿台。鶴鴿と岩は銀製、それらを載せる彩色された洲浜形の木製台は前田香雪(1841～1916)の図案によるもの。大婚二十五年奉祝品として東京革商組合より献上された。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018

The Archives and Mausolea Department  
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan  
Imperial Household Agency